

vol.2 Saishigakuhoren NEWS

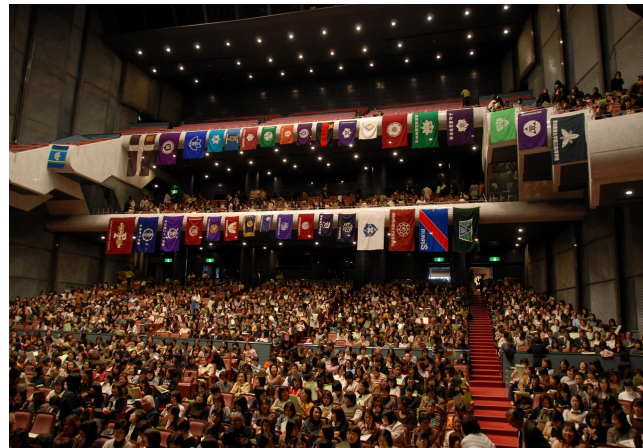
埼玉私学保連ニュース

平成20年3月発行
発行/埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会

さいたま市浦和区高砂 4-13-20 埼玉私学会館内
TEL 048-866-4478 FAX 048-866-4479

私学振興大会を終えて

振興大会副実行委員長 靄野 幸雄



会場には参加42校すべての校旗が掲げられた

平成19年11月22日に私たちの保護者会連合会と中高協会との共催による「埼玉県私学振興大会」をさいたま市文化センターにて、県内私立学校42校による学校関係者や保護者ら約2千人が参加し、盛大に開催することができました。当日、各学校の集合場所である文化センター広場では、非常に風が強く寒い中、入場までの間お待ちいただきまして本当にありがとうございました。

大会は二部で構成され、一部は「セレモニー」と「大会決議の採択」とし、①私立・公立学校の共存共栄のため私立学校教育振興の積極的推進を図ること②保護者の経済的負担を軽減し、学校選択の自由を確保するため、生徒一人当たり私学助成単価を少なくとも千葉、神奈川県並に確保することを決議し採択しました。

二部は、講演「私立と公立どう違う」と「生徒のアトラクション」とし、①武蔵越生高等学校の和太鼓②大妻嵐山中学・高等学校の創作ダンス③浦和学院高等学校の吹奏楽の公演を行いました。また、壇上に部活に励む生徒と保護者、教論らが登場し、練習の様子や子どもへの思いなどを紹介し大会を大きく盛り上げていただきました。

今回の振興大会は埼玉私学保連として初めてのことで、運営についても反省することが多くありました。今回の反省を踏まえて平成20年度の振興大会は事前の準備を重ねて大いに盛り上げる大会にしていきたいと思えます。今後とも皆様のさらなるご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、大会運営にご協力いただいた、浦和実業、大妻嵐山、開智学園、国際学院、小松原、昌平、城北埼玉、獨協埼玉、農大三高、本庄第一、山村女子、浦和学院の皆様本当にありがとうございました。



平成20年度日私学保連 全国大会 埼玉県開催について

【日程】
平成20年7月17日・18日

【会場】
さいたま市「ラフレさいたま」

平成20年度、「日私学保連全国大会」が、7月17日(木)・18日(金)に埼玉県で開催されることが、昨年の静岡で行われた全国大会の席上で正式に決定されました。

埼玉私学保連は誕生もない団体ですが、開催県として関係者の皆様にご協力をいただき、大会成功に向けてがんばってまいります。

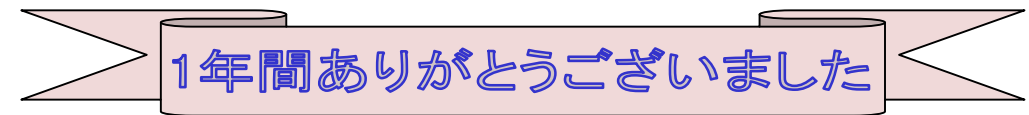


埼玉私学保連の今後の歩み

会長 佐藤 年彦

私たちの埼玉私学保連も結成から1年が経過しました。これまで、役員や理事・監事を始めとして、単位保護者会の皆様のお陰で、定期総会、私学振興大会、研修会等々の活動を行うことができました。

時代の流れは改革へと進んでおります。その流れに乗り遅れないよう、埼玉私学保連は常に新しい発想で進んでいかなければなりません。透明で分かりやすい活動を目指し、協調と団結で進んでいきましょう。



副会長(渉外部長) 茂木 正

過去の父母会活動の弊害を捨て、本当に児童生徒の保護者の手に活動を託せることを目指して、この会は発起され形づくられてまいりました。ようやく全国組織の一員として活動を初めたところです。これから本当の意味での会の活動が生かされ、真価が発揮できる時を迎えようとしています。

今後の活動がますます有意義に高められますことを祈念しています。

副会長(広報部長) 宮脇 みさき

埼玉県の私学の資料から、今置かれている現状の大変さを知りました。何回かの素晴らしい講演を通して、親として自分を見つめ直す機会をいただきました。他校の皆様と共に活動ができ、やりがいのある1年を過ごしました。来年度もたくさんの方々が交流を持ち、この会がもっともっと発展することを期待しています。

書記 待鳥 美光

組織の立ち上げに関わらせていただき、メンバー同士の信頼感を育みながら新たな一歩を踏み出すワクワク感を味わうことができました。組織の基盤をしっかりと作り真摯な活動を積み重ねていくのは、これからが正念場。いつも人と人がつながり、新しい出会いのある、生き生きとした組織にしていきたいです。

会計 佐藤 多賀子

埼玉私学保連の立ち上げメンバーの一員として関わることができたこと、そして1年間の活動を通してかけがえない財産を得られたことをとても嬉しく思い、皆さんに感謝！感謝！！です。これからもこの会が私学振興のため有意義な会になるよう応援しています。

監事 野堀 順子

旧所属の父母の会とほぼ同じ目的の組織でありながら本会の組織運営は大きく違う。この約一年、役員、理事、各校代表者に上下の差無く、意見が交わされてきた。民主的、健全、前向き、情熱的な会だ。全会員校の力があってこそ新しい風が吹いたのだろう。今後も常に若い現役の力で本会を動かすことに期待したい。1年間ありがとうございました。

副会長(振興部長) 靄野 幸雄

保護者会の皆様この1年間本当に有難うございました。平成19年2月18日に埼玉私学保連が立ち上がり、「代表者会議、定期総会、請願活動、埼玉県私学振興大会、研修大会等々」を行ってまいりました。どれもこれも、たどたどしい運営でありましたが、今後とも保護者会の皆様方の協力を得ながら、役員・理事・監事一同、団結して活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

副会長(研修部長) 尾崎 博則

ノーベル物理学受賞者の江崎玲於奈氏は、理想的な組織を「オクシロモン(組織化された混沌)」と表現されています。それは、部分的には混沌で全体的には筋が通った組織のことです。

私は埼玉私学保連の活動でオクシロモンの意味を体感できた...そんな1年でした。

書記 田村 俊二

結成準備大会から1年と数ヶ月、最初は少なかった参加校も現在では34校(37団体)となり、理事みんなで手探り状態でのスタートが徐々に各校に浸透してきたと感じます。

この1年を振り返り大きな成果は、賛同をいただいた多くの参加校です。近い将来に全校参加を目指し、これからもがんばります。

会計 大島 匡

本会は昨年2月発足以降、第1回の振興大会も2千名以上のご参加をいただき、大成功に終わりました。それも、中高協会の諸先生方、各役員の皆様方のご尽力の賜物と存じますが、何より保護者の皆様の教育に対する関心の高さを感じた1年であり、さらなる躍進を確信した1年でもありました。

監事 林 慶寿

ゼロからのスタートながら、各校の役員さんや父母の皆さんに積極的に参加していただき、盛大で活気のある活動ができました。

発起人を中心にした今年度の運営から、今後は徐々に切り替わっていきますが、設立時の理念を忘れることなく、発展させていっていただきたいと思います。

編集後記

2号も無事皆様にお届けすることができ、肩の荷が下りました。全てが初めてづくしで、試行錯誤の1年でした。人はみな支えあって生きているのだなぁと実感している今日この頃です。 広報担当:宮脇 みさき

平成19年度活動報告

6月23日 平成19年度 定期総会(第1回)

6月23日、小松原高校で開催。加盟30校33団体より総勢480名の参加を得て、19年度役員、活動方針、事業計画、予算、分担金の金額と納入方法等の議案すべてが、満場一致で承認されました。
小松原高校合唱部の胸を打つ美しい男声合唱によるアトラクションも大変好評をいただきました。

9月 請願署名活動

公立私立の区別なく学校を選べるようにするために、公私間の公費支出格差の是正を求める請願署名活動が行われました。各加盟校保護者会の皆様のご協力により、43万名の署名を集めることができました。

10月6日 代表者連絡協議会

10月6日、埼玉会館で開催。27校29団体から計59名が参加。11月の私学振興大会について趣旨説明、質疑、意見交換の後、振興大会の2千人動員に向けて努力をしていくことで合意しました。その後自己紹介でそれぞれの学校自慢を披露しあい、和やかに盛り上がりました。

2月9日 初めての埼玉私学保連 研修会



東京私学教育研究所 所長
堀 一郎 先生

国際学院高等学校 副校長
鈴木 正勝 先生

国立・公立・私立とすべての経験をふまえ、さらに新聞記者としてさまざまな事件や塾の取材、旧文部省回りもされていた先生のお話は、広い視野から、埼玉私学をとらえ、保護者としての課題を考える良い機会となりました。

埼玉私学発展の歴史を時代背景と照らし合わせながらわかりやすく説明していただきました。私学発展の陰には創立者の高い志があり“選ばれる学校づくり”へとときめ細かい生徒指導やさまざまな取り組みの様子を熱く語っていただきました。

2月9日(土)13時20分から市民会館うらわにて「平成19年度埼玉私学保連保護者会研修会」を開催いたしました。

第1部に東京私学教育研究所所長堀一郎先生の講演「保護者会のあり方と役割」を、第2部の前半に国際学院高等学校副校長鈴木正勝先生の講演「躍進する埼玉私学」、後半に「保護者会の実践報告」として慶應義塾志木高校PTA、国際学院高等学校保護者会、東京農大第三高等学校保護者会の3保護者会の活動報告をしていただきました。各保護者会の多彩な活動に、27校の代表参加者から熱心なご質問ご意見をいただきました。

今後も研修会に加盟校保護者会活動の報告を継続していくことを確認して閉会となりました。



東京農大第三高等学校
山崎 英隆 会長

全国私学振興大会開催

私学振興全国大会が十二月十一日、日比谷公会堂で開催され、全国から二千人を超える私立小・中・高等学校関係者及び保護者が参加しました。来賓には自由民主党国会議員五七人及び秘書三四人が駆けつけ、私学振興への決意を語りました。

今大会では、埼玉県と兵庫県の保護者会連合会が参加し、全国四七都道府県すべてが揃いました。



H19.12.13全私学新聞

11月22日 私学振興大会

広場の落ち葉が舞い上がるような強くて冷たい北風が吹きつける中、集合場所では各校の代表が持つプラカードの下に参加者が集合し、学校ごとに会場へと向かいました。

林立するプラカードの数と徐々に膨れ上がる人の群れは、参加者の熱意を伝えるもので、大会の熱気を十分に感じさせてくれました。



大妻嵐山中学・高等学校 ダンス部

中学生は先輩高校生に憧れ必死に努力し、先輩はダンスを始め学校生活すべてのお手本となっている“素晴らしいチームワーク”をステージ内・外で感じました。中高一貫校ならではのこころです。



武蔵越生高等学校 和太鼓部

集中力・仲間力・静と動…次々とそんな言葉が思いだされます。1音で聴衆の心をひとつにしてくれたステージでした。先輩から後輩への口伝の和太鼓の世界。卒業生にプロもいるとのこと、うなずけます。

浦和学院高等学校 吹奏楽部

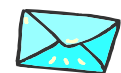
保護者の世代にも共感できる懐かしい曲で聴衆を楽しい気持ちにさせる実力は圧巻！
部員の皆さんの個々の力を結集した大人数の豊かな演奏は、埼玉私学保連への力強いエールとなりました。



祝 卒業 入学

この春
ご卒業・ご進学された皆様、
おめでとうございます。

埼玉私学保連は加盟校の卒業式、入学式に祝詞をお届けいたします。



平成20年度事業予定

- H.20年6月21日(土)平成20年度定期総会
- 7月17日(木)日私学保連総会(埼玉県開催)
- 18日(金) ” 研修会
- 9月 機関紙 vol.3 発行
- 11月24日(月祝) 振興大会
- H.21年3月 機関紙 vol.4 発行
- ※その他 研修会 代表者連絡協議会 等